

私たちについて

会社情報

事業紹介

ジャーナル

お問い合わせ



REPORT お知らせ 2022.07.21

## 甌島で移住体験してみませんか



東シナ海に浮かぶ甌島列島。自然豊かな環境と共に暮らす日常がここにはあります。

働き方や暮らし方、考え方が大きく変わったこの数年。甌島での島暮らしのお問合せが増えてきています。

現在、島暮らしを検討しているものの、移住と言われると少々ハードルが高いと感じてい



私たちについて

会社情報

事業紹介

ジャーナル

お問い合わせ



る方も少なくはないのではないのでしょうか？  
そんなみなさんへ「島暮らし」のトライアル  
ステイを体験して頂けるプログラムを立ち上  
げました。



写真はイメージです

今回、東シナ海の小さな島ブランド株式会社  
では、甌島地域への短期トライアルステイ  
（移住体験）に参加していただけるモニター  
を下記のとおり、募集します。なお、応募者  
多数の場合は、志望の動機等により選考の上  
決定しますことをご了承ください。

この事業は、鹿児島県の「かごしま地域活性  
化協働推進事業（県北薩地域振興局の委  
託）」により県と協働で実施するものです。



私たちについて

会社情報

事業紹介

ジャーナル

お問い合わせ



=====  
=====  
=

▼応募・トライアル期間

応募期間：2022年7月20日（水）～2022年8月9日（火）

結果通知：2022年8月18日（木）頃を予定

トライアル日程：10月11日（火）～16日（日）

※全日程参加できる方が対象となります

▼利用案内

対象となる方：甌島地域への移住を検討している方。または、短期滞在を体験してみたい方。

募集定員：2組

利用人数：大人1～2名（お子様連れもOKです）

対象年齢：概ね20代から40代まで

その他の必須条件：滞在中のどこかで島暮らしの様子を撮影させていただきます。撮影した動画や写真などは、移住プロモーション動画やガイドブック等で利用することを事前にご了承ください。なお、お申し込みいただいた時点で、ご了承いただいたこととみなします。

詳しくはこちらをご覧ください

→[応募フォーム](#)へ

=====  
=====



私たちについて

会社情報

事業紹介

ジャーナル

お問い合わせ



### ▼トライアルステイまでの流れ

1.申し込みフォームよりお申し込み  
お申し込み先はこちら

→<https://forms.gle/mf77VHTa3XEZWjfY9>

2.結果の通知

3.来島・撮影へのご協力（撮影終了後は、ご自由にお過ごしください）

4.トライアルステイ終了

《本プロジェクトに関するお問合せ先》

東シナ海の小さな島ブランド（株）

担当：平川晴美

TEL：09969-3-2212

E-mail：h.hirakawa@island-ecs.jp

---

Share



PREV

NEXT



R4. 7. 29 南日本新聞

## 「甌島体験」参加者を募集

定員2組、来月9日締め切り

鹿児島県北薩地域振興局と「東シナ海の小さな島ブランド」株式会社は、10月11～16日に実施する甌島移住体験のモニターを募集している。応募は8月9日まで。

甌島へのUIJターン者確保と定着促進を目的に企画した。対象者は移住か短期滞在の希望者で、定員は2組。おおむね20～40代、1

組大人1～2人を想定しており、子ども連れも可。滞在は島内の空き家かフジヤホステルとなる。

移住プロモーション動画やガイドブックで紹介するため、撮影の了承も条件。往復旅費と宿泊費は主催者が負担する。同社のホームページから申し込む。同社＝09969(3)2212(水、木曜休み)。

## MBC NEWS

## 「人の温かさに触れた」東京・大阪の2組が甑島で短期移住体験 鹿児島県 [10/13 16:17]



人口減少が進む甑島でIターンなどを促進する鹿児島県の移住体験事業が始まり、東京と大阪からの2組が短期滞在しています。

「（甑島に来たのは）初めて。見渡す限り海と山が広がっているのでいろいろな所に行けるのが楽しみ」

この移住体験・トライアルステイは5泊6日の日程で甑島の暮らしを体験するものです。Iターンなどを促進し定住人口を増やそうと、県の事業委託を受けた甑島の企業が行っています。

おととい11日、大阪からの夫婦2人と、東京からの女性1人のあわせて2組がフェリーで訪れました。

島に入った2組はまず、Iターンで住んでいる人からの体験談を聞きました。そして期間中、宿泊する空き家などに入りました。

「すごーい」「最高！」

甑島の人口は70年前の最盛期に比べ、6分の1以下の3800人余り。空き家も増える一方で、魅力ある石積みの武家屋敷や漁師町が広がる環境で暮らし始めた2組は・・・

（東京から移住体験 柴田優香さん）「まだ一晩だけけれど島の人の温かさに触れている。離島に移住するハードルは高いと感じていたが大変ありがたい。相性が合うと感じ

たら移住したい」

（大阪から移住体験 福井慎さん・美宏さん）「（甑島は）3度目」「旅行で来るより実生活に近い感じで過ごせたので、移住に対して前向きになった」

（県の委託事業を実施・東シナ海の小さな島ブランド・山下賢太代表）「移住と堅苦し  
くならず何度も通いたいと思ってもらえたりこの島を好きになってくれる人が1人  
でも増えたらいい」

2組の移住体験は今月16日までです。